

ダークウェブ

JJ1SXA/池

グーグル・ヤフー等の検索エンジンを用いて閲覧できる、一般的な「サーフェースウェブ」より下の階層にあり、パスワードや認証機能を使って閲覧できる「ディープウェブ」、更にその下の階層にある「ダークウェブ」は、専用ソフトを使わなければ、一般ユーザーはアクセスできない。

最近この「ダークウェブ」と呼ばれる、闇サイトで盗んだ個人情報やクレジットカード情報が売り買いされていることが社会問題になっているようだ。

ダークウェブではこんな情報が売買されていて、相場もあるらしい。

- * メールアドレスとパスワード(15ドル程度)
- * クレジットカード番号(45ドル程度)
- * オンライン支払い口座(100ドル程度)

この闇サイトには一般のユーザーはアクセスできない特殊なサイトなので、自分の情報が流出しているかを確認するのは難しい、と言うより不可能に近い、但し、漏洩の心配がある個人情報は、ネット上に保管されている情報だ。

どうしても心配なら有料のソフト「ノートンダークウェブモニタリング」のお世話になるより無い、このソフトはダークウェブの状況を監視し、情報が洩れていることが発覚したら通知してくれるものだ。

流出したクレジットカード情報が実際に利用される前にカードを停止するなどの対策が可能になる。

使い方はシンプルで、専用のウェブサイトで、メールアドレスやクレジットカードの番号、住所、電話番号、銀行口座番号などを監視対象として登録すれば良く、ダークウェブへの流出が検出されるとユーザーに通知メールが届くのだ。

ノートンダークウェブモニタリング1年1アカウント版の実売価格(2020年9月調べ)は、アマゾン ¥2,745、ビックカメラ ¥2,720、ヨドバシカメラ ¥2,720、ヤマダ電機 ¥3,058 のようだ、1年版の他、2年版、3年版もある。

